



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	福地保馬教授の退官にあたって：人徳と研究・教育の業績を振り返る
Author(s)	森谷, 潔
Citation	北海道大学大学院教育学研究科紀要, 88, 307-323
Issue Date	2003-02
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/28893
Type	departmental bulletin paper
File Information	88_P307-323.pdf



福地保馬教授の退官にあたって

—人徳と研究・教育の業績を振り返る—

森 谷 繁*

Profile of Professor Yasuma FUKUCHI
—at the Time of the Mandatory Retirement—

Kiyoshi MORIYA

福地保馬教授の略歴と研究業績については別紙に記述して紹介するので、本文では、教育者・研究者としての福地教授のご人徳を中心に述べることにする。

北海道大学教養部報「瓔珞」No 29 (1984年7月号) の新任教官紹介欄に「福地保馬先生 (保健体育) 昭和59年5月16日付 (着任) / 出身地: 大阪府 / 最終学歴: 北海道大学大学院 / 専攻: 公衆衛生学」と掲載されている。私はその頃、「瓔珞」編集委員であった。また、福地教授を同僚として迎えた立場にあった。

上記のように、福地保馬教授は昭和59年5月から、当時の教養部で「保健体育理論」の講義を担当することとなった。制度の改変で教養部がなくなり、『教養教育』から『全学教育』に、「保健体育理論」から「健康科学」と呼称が変わった現在でも、北大に入学した初年度の1年生を主対象にした【健康教育】に情熱を傾けてこられた。

教養部の「保健体育理論」と同時進行で、教育学部の「専門演習 (教育生理・健康教育) I・III」が始まった。教育学部の専門科目として、「教育衛生学」「健康教育学」も同時に担当されてきた。福地教授は、専門の労働衛生学を基礎に、論理的であると同時に、個性的な切り口・視点で、現代社会の健康問題に向き合い解決の方策を探ってこられた。この姿勢は担当される教育を通じて、学生が自分の将来はもとより、両親が行っている、また社会で行われている【労働】をイメージしながら、学問を追究することに繋がっていった。同時に大学院教育学研究科の担当教授でもあった。大学院生の研究指導においては、社会医学的な視点から、個々人の院生の研究課題を指導し、援助を行ってこられたと考える。多様な学生・院生の研究課題に適切に助言できる基礎的研究力量は専門に裏付けられており、同時に新しいことを吸収して博識であることに学ぶことが多かった。

福地保馬教授の研究業績に見るように、研究分野は、労働衛生・環境衛生・健康科学分野であり、多くの研究者や在野の方達と共同で、議論し、調査し、解決を探る、実証に基づいた手堅い研究方法をとってこられた。10年を越えるような縦断研究も手がけながら、業績数は大変多く、共同研究者の方々も多彩であり多数である。研究の後継者も育ててこられたが、ご自身も今後研究課題を未だ残しておられると拝察する次第である。

福地保馬教授は【人間】を愛し、「酒を飲みながら談笑し議論する」ことが大好きである

* 北海道大学大学院教育学研究科健康スポーツ科学講座教授

ように見受けられた。このような行動の中で、幅広い人間関係が形成されていった面があるに違いない。しかし、酒がなくても、度量が広く、大概のことは受け入れて貰えるが、教育者・研究者としては当然一徹である。近年は酒を介さずに、夏は【登山】、冬は【歩くスキー】などで交流し、健康スポーツ科学を实践しておられるので好ましいことである。福地教授はその度量の大きさ故に、超人的な仕事のスケジュールを引き受けているようにも見えて、健康を心配することも多かった。

今後も「生涯健康」を課題にして、研究のさらなる展開を祈念する。長い年月にわたり教育と研究をともし、学ぶことの多かったことに感謝申し上げます。

福地保馬教授の略歴と研究業績

1. 略歴

生年月日 1939 (昭和14) 年11月7日

出生地 大阪市

学歴	1958 (昭和33) 年	大阪府立住吉高等学校卒業
	1959 (昭和34) 年	北海道大学医学進学課程入学
	1965 (昭和40) 年	北海道大学医学部卒業
	1965 (昭和40) 年	北海道大学医学部付属病院にて医学実地修練 (至1966年)
	1966 (昭和41) 年	医籍登録 (第192,076号)
	1970 (昭和45) 年	北海道大学大学院医学研究科社会医学系修了
	1973 (昭和48) 年	学位 (医学博士: 北海道大学) 取得
職歴	1966 (昭和41) 年	北海道美唄保健所・医師 (至1967年)
	1970 (昭和45) 年	北海道大学助手 (医学部公衆衛生学講座)
	1977 (昭和52) 年	滋賀医科大学講師 (医学部予防医学講座)
	1984 (昭和59) 年	北海道大学教授 (教育学部健康体育科学講座=現在, 大学院教育学研究科・健康スポーツ科学講座), 現在に至る
	1989 (平成元) 年	北大体育指導センター所長 (併任, 至1996年)
	1991 (平成3) 年	北海道大学評議員 (併任, 至1993年)
	1998 (平成10) 年	放送大学客員教授 (併任, 現在に至る)

2. 研究業績

(1) 著書

1. 福地保馬, 沢田春美, 若葉金三: 「北海道公害地図」 (渡部真也監修) 1971 北海道労災職業病研究対策センター (札幌)
2. 林智ほか編: 「環境アセスメントノート」 1979 武蔵野書房 (東京)
[分担執筆部分] 福地保馬: 苫東開発における環境アセスメント, : 265-267
3. 三浦豊彦ほか編: 「労災職業病健康管理・III」 480pp, 1984, 総合労働研究所 (東京)
[分担執筆部分] 渡部真也, 福地保馬: 職業がんと疫学調査: 409-430

4. 倉恒匡徳：「職業がん－疫学的アプローチ」215pp, 1985 篠原出版（東京）
[分担執筆部分] 渡部真也, 福地保馬：クロム酸塩製造工のがんについての疫学的研究：69－81
5. 北海道大学放送教育委員会編：「情報化社会に生きる－経済とくらし」1986, 北大図書刊行会（札幌）
[分担執筆部分] 福地保馬：「情報化社会の労働－働く人々の健康－」95－105
6. 福地保馬：「VDT 労働の健康問題と対策の視点」46pp, 1986 道大職組（札幌）
7. 内山源, 三井淳蔵編：「健康概論」260pp, 1987 家政教育社（東京）
[分担執筆部分] 福地保馬：「環境汚染と健康」：185－204
8. 細川汀, 福地保馬ほか：「新労働科学論」3vols, 1988, 労働経済社（東京）
[分担執筆部分] 福地保馬：職業がん 784－810,
9. Kaneko.K ed: 「Fitness for the aged, disabled and industrial worker」 Human Kinetic Publishers (USA), 1990
[分担執筆部分] K.Moriya and Y.Fukuchi: Physical fitness as an important element of successful aging.: 18－20.
10. 中島篤之助, 石崎健二, 福地保馬, 野口邦和共編：「原子力と人類－現代の選択」222pp, 1990, リベルタ出版（東京）
11. 福地保馬（監訳）：「スポーツ能力診断－理論と実際－」70pp, 1991 オーム社（東京）（原著 Peter Schurch: Leistungsdiagnostik-Theorie und Praxis, 1987）
12. G.Ueda et al.: 「High Altitude Medicine」 Shinshu University Press (Nagano) 1992
[分担執筆部] K.Moriya, K.Nakagawa, M.Hattori, T.Suda, S.Yokoyama, Y.Fukuchi: Thermoregulatory Reactions in a Cold Environment and Physical Fitness, 512－517
13. 福地保馬：「女性労働者の手指障害」103pp, 1992, 全林野労働組合（東京）
14. 細川汀, 福地保馬, 二塚信, 榊原久孝, 平田衛, 西山勝夫, 三戸秀樹, 松本忠雄, 田井中秀嗣, 上畑鉄之丞：「労働と健康の科学」（労働と健康の科学研究会編）1993, 労働経済社（東京）
[分担執筆部分] 福地保馬：「職業がん－そのひろがりと予防対策の原則－」120－147
15. 福地保馬, 伊藤誠一, 若葉金三, 富田素實江編著：「職業病とたたかう力」（北海道職対連編）1993, 労働経済社（東京）
[分担執筆部分] 福地保馬：「労働者の健康と職業病」5－39
16. 福地保馬（監修）：「体力・健康と運動科学」226pp, 杏林書院, 東京 1995
17. 福地保馬, 本間行彦, 方波見雅夫, 森谷紱, 重住道彦, 谷宏, 上田満, 上野武治：「北国の健康科学」（北国の健康科学研究会編）182pp, 学術図書出版社（東京）
[分担執筆部分] 福地保馬：「働くひとびとの健康」101－121, 福地保馬：「環境問題と健康」151－166
18. 三宅浩次, 山村晃太郎, 福地保馬ほか：「環境と健康」（三宅浩次, 山村晃太郎編）104pp, 北海道医師会（札幌）1999
[分担執筆部分] 福地保馬：「クロム肺がん」39－42
19. 福地保馬, 佐藤修二, 川村雅則：「炭鉱離職者の健康」M炭鉱離職者追跡調査実行委員会（芦別市）, 126pp, 2001

(2) 学術論文

1. 渡部真也, 福地保馬, 松村明仁, 石田聖治: 農山村における騒音公害の評価, 産業公害 5 (3): 20-25, 1969
2. 渡部真也, 福地保馬: 北海道公害地図, 「公害と労働運動」(北海道版): 5-12, 1970
3. 福地保馬: 室蘭市の公害反対運動, 北海道自治研究 24: 22-24, 1971
4. 南正康, 福地保馬, 滝沢顕彦: ダイナマイト工場作業者の尿中カテコラミンおよびその代謝産物の変動と自律神経テストについて, 方産業衛生 31: 51-56, 1971
5. 福地保馬: 室蘭市の大気汚染とその影響, 70年代と科学 3: 51-59, 1972
6. 福地保馬: 亜硫酸ガスの環境基準と閾値, 公害と科学運動 5: 23-28, 1972
7. 福地保馬: 縦貫道路と公害, 江別地区労・国土開発縦貫自動車道(南北線)と公害特集 1: 1-3, 1973
8. 福地保馬: 苫小牧東部開発と大気汚染, 北海道自治研究 57: 16-21, 1973
9. 福地保馬: 伊達火力発電所建設と公害-大気汚染の予測をめぐって, 公害と科学運動 7: 63-70, 1973
10. 福地保馬: 道環境白書(昭和49年)の問題点, 北海道経済, 1974
11. 福地保馬: 労働衛生分野における頸肩腕障害の現状-とくに発生原因のとりえ方をめぐって, 北方産業衛生 32: 3-7, 1975
12. 福地保馬: 苫東「環境アセスメント」批判, 北海道経済 135: 9-14, 1975
13. 福地保馬: 苫東開発のための「環境アセスメント」批判, 70年代と科学 5: 14-17, 1975
14. 福地保馬: クロムによる職業病と環境汚染, 日本の科学者10 (10): 13-18, 1975
15. 渡部真也, 福地保馬: クロムによる職業がん-その疫学と対策の問題点, 科学 45(10): 688-693, 1975
16. 福地保馬: 北海道における六価クロム問題, 70年代と科学 6: 4-10, 1976
17. 福地保馬: 北海道における六価クロム問題-日本電工栗山工場に多発した肺がんの疫学調査から-, 北海道経済 144: 10-26, 1976
18. 福地保馬: 職業性がん, 賃金と社会保障 694: 48-51, 1976
19. 福地保馬: 公衆衛生学からみた環境問題, 第1回環境サイエンス北見シンポジウム講演論文集: 36-37, 1976
20. 福地保馬: 苫小牧東部開発と「環境アセスメント」, 日本の科学者 12 (7): 13-19, 1977
21. 渡部真也, 福地保馬ほか: 草地造成作業に伴う騒音と従業者の聴力障害, 北海道農村医学雑誌 10 (1): 53-56, 1978
22. 福地保馬: コンクリートヒューム管製造工場の振動障害について, 滋賀県産業医学会誌 16: 16-18, 1978
23. 渡部真也, 福地保馬ほか: 農作業におけるトラクターの振動と騒音, 日本農村医学雑誌 28 (4): 612-617, 1979
24. 若葉金三, 渡部真也, 福地保馬: 米作収穫調整作業についての労働衛生調査, 北海道農村医学会雑誌 11: 68-74, 1979
25. 渡部真也, 若葉金三, 福地保馬: 農用トラクター運転条件と心拍数, 北海道農村医学会雑誌 11: 61-64, 1979
26. S.Watanabe, Y.Fukuchi et al.: Noise exposure and hearing loss of farmers in mechan-

- ized agriculture., J.Intn. Assoc. Agricultural medicine & health 5: 34-38, 1980
27. 福地保馬：職業性がん，賃金と社会保障 796：44-48, 1980
28. Y.Fukuchi: Nitrogricol concentration in blood and urine of workers engaged in a dynamite production. Int Arch Occup Environ Health 43: 339-346, 1981
29. 福地保馬，渡部真也：農民の騒音被暴一等価騒音レベル計による評価，日本農村医学雑誌 29：873-878, 1981
30. 福地保馬：低濃度ニトログリコールの作用に関する研究，北海道医学雑誌 56：245-257, 1981
31. 福地保馬，渡部真也ほか：コンクリートパイプおよびパイル製造工場における振動障害，産業医学 23：278-284, 1981
32. クロム酸塩製造作業者の嗅覚障害，産業医学 23：606-611, 1981
33. 福地保馬：郵便配達作業者の健康障害，労働と健康 44：29-32, 1981
34. T.Matsumoto, Y.fukuchi, et al.: Mailmen's vibration hazards induced by motorcycle riding-Results of cooling load test. Industrial Health 20: 167-175, 1982
35. 渡部真也，福地保馬ほか：重症心身障害児施設の療育・介護活動における身体疲労・腰痛症等の予防対策の総合研究，びわこ学園研究誌 2：1-16, 1982
36. Y.Fukuchi, S.Watanabe: TTS of vibratory sensation induced by exposure to intermittent vibration. Proc. of the 8th Congress of the International Ergonomics Assoc.: 294-295, 1982
37. 渡部真也，福地保馬ほか：比較的近代化された農業地帯における婦人農業従事者の労働負担と自覚症状，日本農村医学雑誌 32：101-111, 1983
38. I.Hirosawa, Y.Fukuchi et al.: Availability of temperature sense indices for diagnosis of vibration disease, Int Arch Occup Environ Health 42: 215-222, 1983
39. 福地保馬，渡部真也，金森雅夫：農作業負担による疲労自覚症状の解析，日本農村医学会雑誌 32：860-863, 1983
40. 松井清明，福地保馬ほか：ラット脛骨レ線像の皮質計測値と bone mass の相関，整形外科基礎科学 10：171-173, 1983
41. 天方義邦，福地保馬ほか：麻酔の特殊性，外科治療 50：72-80, 1984
42. 福地保馬，渡部真也ほか：寒冷地における大気汚染の影響，大気汚染学会誌 19：28-34, 1984
43. I.Hirosawa, Y.Fukuchi et al.: Physiological variations of warm and cool sense with shift of environmental temperature, Intern. J. Neuroscience 24: 281-288, 1984
44. 石田裕紀子，森谷繁，福地保馬：都市在宅高齢者の健康状態と生きがい感に関する調査研究，保健の科学 28 (1)：59-61, 1986
45. 石田裕紀子，森谷繁，福地保馬：都市在宅高齢者の健康・生きがいと生活歴ならびに基礎体力の関連について，保健の科学 28 (7)：500-502, 1986
46. 阿部ジョアナ，福地保馬ほか：風疹とそのワクチンに関する青年市民の意識，公衆衛生 50 (8) 568-572, 1986
47. 福地保馬：大気汚染による健康被害の現状-中公審専門委員会報告の分析-，公害と日本の科学 10：93-104, 1986

48. 福地保馬：働きすぎの健康学，「科学と人間 Part2.」47-55，1989
49. K.Wakaba, Y.Fukuchi et al.: A neurotological study on the vibration disease in chain-saw operators. 5th HAV 論文集 1989
50. 森谷繁，福地保馬ほか：都市部におけるスポーツ健康教室参加高齢者の生活・健康・生きがいに関する研究，高齢者問題研究 6：101-114，1990
51. 若葉金三，北郷行雄，渡部真也，福地保馬，三田温，山地誠一，千坂孝司：チェンソー作業における神経耳科学的研究，労働者の健康 5 (2)：19-25，1990
52. 森谷繁，新国三千代，布上恭子，福地保馬：都市部における老人クラブ参加高齢者の健康・生きがい・基礎体力に関する研究，高齢者問題研究 7：55-71，1991
53. 岸玲子，福地保馬ほか：路上運転従事者（タクシー・バス運転手）の労働と健康に関する実態調査，北方産業衛生 38：50-57，1991
54. 森若文雄，田代邦雄，土井陸雄，佐藤洋，福地保馬：無機水銀中毒後遺症の臨床的検討－筋萎縮性側索硬化症との関連について－，臨床神経学 31：885-887，1991
55. 森谷繁，新国三千代，福地保馬：大学生にみるライフスタイルと心身諸機能の連関，北海道大学教育学部紀要 57：185-221，1992
56. 森谷繁，福地保馬，州崎久代，中野康子，佐々木久子，新国三千代，布上恭子：道東地域に居住する在宅高齢者の健康・生きがい・基礎体力に関する研究，高齢者問題研究 8：93-109，1992
57. 福地保馬：職業性疾患の発症と労災補償・長期潜伏性職業病にとって最高裁判決の持つ意味（特集・和歌山ベンジジン訴訟・その歴史と意義），労働法律旬報 1312（5月下旬号），26-29，1993
58. Kishi, R.Doi, Y.Fukuchi, H.Satoh, T.Satoh, A.Ono, F.Moriwaka, K.Tashiro, N.Takahata: Subjective Symptoms and Neurobehavioral Performances of Ex-Mercury Miners at an Average of 18 Years after the Cessation of Chronic Exposure to Mercury Vapor, Environmental Research 62, 289-302, 1993
59. 福地保馬：大気汚染公害判決における健康被害の視点，新医協 1336，2，1994
60. R.Kishi, R.Doi, Y.Fukuchi, H.Satoh, T.Satoh, A.Ono, F.Moriwaka, K.Tashiro, N.Takahata: Residual neurobehavioural effects associated with chronic mercury vapour exposure, Occupational and Environmental Medicine 51: 35-41, 1994
61. 福地保馬：労働安全衛生法と教職員の健康問題，北海道高等学校教職員組合養護教員部編『新しい時代の養護教諭をめざして』53-62，1994
62. 福地保馬：郵政労働者の腰痛の状態，全通信労働組合中央本部労働安全衛生研究会『郵政職員の働き安さと安全衛生に関する研究』64-90，1994
63. 川初清典，晴山紫恵子，山本広子，福地保馬：いわゆる「ツルツル路面」歩行の筋電図学的研究－その負荷量と効果的歩行法の検討－，'95北海道の研究開発 44，1995
64. 福地保馬：企業社会の「いじめ」と現代の労働，人間と教育 9，141-153，1996
65. 志渡晃一，小橋元，福地保馬：心筋梗塞にかかりやすい労働条件に関する症例・対照研究，社会医学研究 14，109-113，1996
66. 宮島成江，森谷繁，福地保馬：クアハウス基点（山形県）利用者の利用実態と健康意識，疲労と休養の科学 11 (1)，67-73，1996

67. 川初清典, 福地保馬, 晴山紫恵子, 深山智代, 山本広子, 村岡卓哉: 高齢者の健康づくりに効果的な住居内階段の仕様について—骨粗鬆症予防を中心として—, 住宅総合研究財団研究年報 23, 1996
68. 福地保馬: 職業性疾病の予防と快適職場の実現, 職研センター情報 71, 3-8, 1997
69. 小田史郎, 森谷繁, 福地保馬: 安静時, 運動後の回復時における自然音の休養効果について, 疲労と休養の科学 12, 1, 91-101, 1997
70. 川村雅則, 福地保馬: 長距離トラック運転労働と健康—同乗調査の体験を中心にして—, 現代労働負担研究会編「現代の労働者と労働負担—労働実態から過密労働規制へ—」1997, 21-24
71. 吉川理香, 森谷繁, 福地保馬: VDT 作業による疲労の発現とその回復に及ぼす花の影響, 疲労と休養の科学 1998; 13, 1, 155-166
72. 藤原喜一郎, 森谷繁, 福地保馬: 壁紙の色彩が作業時と作業後の自律神経機能に及ぼす影響, 疲労と休養の科学 1998; 13, 1, 169-187
73. 埤田和史, 渡部真也, 西山勝夫, 福地保馬, 宮北孝志: 国有林労働者の騒音曝露に関する調査, 産業衛生学雑誌 1998; 40 (3): 85-90
74. 福地保馬: クロム肺がん, 北海道医報 1998; 911, 10-13
75. 福地保馬, 川村雅則: 自動車運転労働者の労働態様および健康状態, 現代労働負担研究会編「人間らしい労働生活を求めて—リストラ時代の労働負担—」1999, 6-12
76. 小野雄一郎, 埤田和史, 中石 仁, 中田 実, 福地保馬, 宇土 博, 車谷典男: 頸肩腕障害研究の今日的課題—国際的動向から検証した頸肩腕障害の考え方—, 産業衛生学雑誌42(増刊): 53-58, 2000
77. 川村雅則, 福地保馬: トラック運転手の労働条件と, 睡眠および食事に状況—事例調査から—, 交通科学 30.2, 55-60, 2000
78. 川村雅則, 福地保馬: ダンプ運転手の労働条件, 睡眠と食事の状況および健康状態—事例調査から—, 交通科学 30.2, 61-66, 2000
79. 福地保馬: 北海道における炭鉱離職者の健康追跡調査, 季刊・働くもののいのちと健康 6: 30-34, 2000年10月
80. 福地保馬: 過重労働下でのいのちと健康, 月刊全労連 46, 1-6, 2000年11月
81. 小橋 元, 鷺尾昌一, 太田薫里, 福地保馬: 血液検査でわかることについての知識と研究への臓器・血液供出に関する意識との関連—専門学校・短期大学生への質問紙調査—, 社会医学研究 19; 23-31, 2001
82. 佐藤修二, 川村雅則, 若葉金三, 福地保馬, 西山勝夫: 長時間トラック運転労働における心拍動態, 北方産業衛生 43; 1-7, 2001
83. 福地保馬: 21世紀, いのちと健康をまもる課題と展望, 季刊・働くもののいのちと健康10-16, 2001
84. 小橋元, 太田薫里, 長野俊輔, 木佐健悟, 笠井世津子, 芳賀光治, 玉城英彦, 福地保馬: 札幌市におけるホームレス者の健康問題と生活習慣の実態・平成12年度の健康相談会の実践から, 日本公衆衛生雑誌 48, 9: 785-793, 2001
85. 福地保馬, 佐藤修二, 川村雅則: 炭鉱離職者の健康状態に関する調査研究, 北海道大学大学院教育学研究科紀要 84, 1-64, 2001

(3) その他の学術刊行物

1. 斉藤幾久次郎, 福地保馬ほか: 局所振動障害の職場における医学的予防法の研究, 昭和46年度北海道科学研究委託報告書: 1-16, 1972 (北海道林務部)
2. 渡部真也, 福地保馬ほか: チェンソー及び刈払機の振動の比較測定, 昭和49年度北海道科学研究委託報告書: 1-9, 22-29, 1975 (北海道林務部)
3. 渡部真也, 福地保馬ほか: チェンソー及び刈払機の騒音の比較測定, 昭和49年度北海道科学研究委託報告書: 9-12, 30-32, 1975 (北海道林務部)
4. 渡部真也, 福地保馬ほか: 職業性振動障害の予防的治療法の研究, 昭和49年度北海道科学研究委託報告書: 13-21, 33-40, 1975 (北海道林務部)
5. 渡部真也, 福地保馬ほか: トラクター, 集材機等の振動が腰痛におよぼす影響について, 振動障害, 腰痛症に関する委託研究報告書: 59-82, 1979 (林野庁)
6. 福地保馬ほか: 「郵便外務員の健康調査の研究」, 全通職業病研究会刊 201pp, 1980
7. 渡部真也, 福地保馬ほか: 林業用機械の運転業務における腰痛の研究, 昭和55年度振動障害・腰痛に関する委託研究報告書: 41-112, 1980 (林野庁)
8. 渡部真也, 福地保馬ほか: 滋賀県および北海道における農業生産構造と健康障害に関する研究, 昭和54年度厚生科学補助研究報告「婦人農業従事者の健康障害に関する研究」: 44-60, 1980
9. 渡部真也, 福地保馬: 「伊達市における住民の呼吸器に関する自覚調査 (第2報)」, 胆振西部医師会刊 141pp, 1980
10. 渡部真也, 福地保馬ほか: 滋賀県および北海道における農業生産構造と健康障害に関する研究-比較的近代化された農業地域における婦人の農業労働と健康-, 昭和55年度厚生科学補助研究報告「婦人農業従事者の健康障害に関する研究」: 32-45, 1981
11. 渡部真也, 福地保馬ほか: 「日本織物加工における交替制勤務労働の疲労調査」(調査研究報告書) 日本織物加工労働組合発行 1982
12. 福地保馬ほか: 郵政労働者の交替制労働影響調査報告, 全通職業病研究会編「全通職業病研究会報告書」1-103, 1983
13. 福地保馬ほか: 「第2回夜勤・交替制労働の生活・健康への影響調査 (1985年)」, 全通職業病研究会刊 85pp, 1985
14. 福地保馬ほか(座談会記録): 「医学生にとってちょっと耳が痛くてちょっとためになる200分座談会」, 同時代社編集部編「医学生諸君-第1線医療の医師像-」125-161, 同時代社(東京) 1986
15. 福地保馬: 「伊達市民の呼吸器等に関する自覚調査(第3報)」, 胆振西部医師会刊 111pp, 1987
16. 福地保馬ほか: 元水銀鉱山労働者・家族の疾病史と生活史に関する労働衛生学的・社会的的研究, 1986年度トヨタ財団研究助成金報告書, 1987
17. 福地保馬ほか: 「郵政職場における VDT 労働と健康に関する調査報告書」, 全通職業病研究会刊 231pp, 1987
18. 福地保馬ほか: 「夜勤・交替性労働の生活・健康への影響」, 全通職業病研究会刊 16pp, 1988
19. 福地保馬ほか: 「夜勤・交代制労働の生活・健康への影響」, 全通職業病研究会刊118pp,

1989

20. 福地保馬：「伊達市民の呼吸器等に関する自覚症状調査（第4報）児童のATS-DLD質問調査」，胆振西部医師会刊 1988
21. 川初清典，福地保馬ほか：本道幼児の冬における健康づくりからみた「歩くスキー」，平成元年度北海道科学研究費補助金研究成果報告書：103-104，1990
22. 森谷繁，中川功哉，福地保馬：青少年のライフスタイルと精神的健康に関する研究，マツダ財団研究報告書（青少年健全育成関係）3：34-54，1990
23. 福地保馬：北海道における健康づくりと「歩くスキー」，北大体育指導センター報告書2：43-47，1990
24. 田代邦雄，森若文雄，土井陸雄，佐藤洋，福地保馬，岸玲子，浜田毅，島功二：運動ニューロン疾患と水銀濃度，厚生省特定疾患神経変性疾患調査研究班（萬年班）1991年度研究報告書，37-39，1992
25. 福地保馬ほか（座談会記録）：創立20周年記念座談会－経緯と展望－，北海道大学体育指導センター年報4，15-24，1992
26. 福地保馬：疫学および大気汚染疫学調査について，名古屋南部大気汚染公害差止等請求事件（平成元年ワ第913号）第21回口頭弁論「証人調書」184pp，1993 名古屋地方裁判所
27. 福地保馬：疫学および大気汚染疫学調査について，名古屋南部大気汚染公害差止等請求事件（平成元年ワ第913号）第22回口頭弁論「証人調書」188pp，1993名古屋地方裁判所
28. 福地保馬：疫学および大気汚染疫学調査について，名古屋南部大気汚染公害差止等請求事件（平成元年ワ第913号）第25回口頭弁論「証人調書」176pp，1994名古屋地方裁判所
29. 福地保馬：疫学および大気汚染疫学調査について，名古屋南部大気汚染公害差止等請求事件（平成元年ワ第913号）第26回口頭弁論「証人調書」180pp，1994名古屋地方裁判所
30. 福地保馬：（評論）いま教師は健康か？，地域と大学，2：4，1995
31. 福地保馬：（評論）時間外労働と教職員の健康，北海道教職員組合勤務実態調査分析検討委員会編『勤務実態調査報告書』：75-76，1995
32. 森谷繁，須田力，中川功哉，福地保馬：成年男子における運動継続による持久性体力の発達と体温調節機能の関連，平成5年度科学研究費補助金（一般研究A）研究成果報告書「縦断方法による運動と防衛体力特に体温調節機能の発達および機構に関する研究」17-28，1995
33. 中川功哉，森谷繁，須田力，福地保馬：ポリグラフによる冷氣負荷時の生理反応－脳波（12ch）と呼吸循環体温の動態－，平成5年度科学研究費補助金（一般研究A）研究成果報告書「縦断方法による運動と防衛体力特に体温調節機能の発達および機構に関する研究」43-53，1995
34. 福地保馬：（解説）公開講座の「出前」生涯学習講座，文部時報1434，70，1996
35. 福地保馬：苗畑作業者の健康に関する調査－とくに手指の変形と労働負担との関連について－，林野庁指曲がり症状検討小委員会報告：15-22，1999
36. 川村雅則，福地保馬：北海道における自動車運転労働者の労働と健康の実態－トラック，ダンプ，タクシーの調査から－，働くもののいのちと健康2：56-59，1999
37. 福地保馬：はたらくものの健康をどう捉えるか，第10回労災職業病九州セミナー報告集13-22，1999

38. 福地保馬：(巻頭言) 氷点下を越冬するホームレス，労働総研ニュース2000年1月，1
39. 福地保馬，川村雅則：タクシー労働者の労働条件，生活習慣，健康状態—腰痛の実態に焦点をあてて—，北海道勤労者安全衛生センター（札幌）24pp，2000.
40. 福地保馬：ホームヘルパーの労働負担と小企業の衛生管理の諸問題，—第41回日本社会医学学会総会「労働衛生問題」自由集会—，労働と健康 26 (5)：13-15，2000

(4) 学会報告

1. 福地保馬：新しい自觉症状調査表の検討，第27回北方産業衛生学会 1966.11
2. 山村晃太郎，安倍三史，福地保馬：Audio Flutter Fusion (AFF) 法の意義と応用，第17回日本医学会総会衛生関連 6 分科会連合学会 1967.4
3. 渡部真也，山村晃太郎，福地保馬：航空管制官の疲労，第17回日本医学会総会衛生関連 6 分科会連合学会 1967.4
4. 渡部真也，福地保馬，石田聖治，安倍三史：水銀の尿中排泄量の評価，第41回日本産業医学会 1968.5
5. 南正康，福地保馬：ニトログリセリン及びニトログリコール取扱作業者の尿中カテコールアミンについて，第42回日本産業医学会 1969.3
6. 渡部真也，福地保馬，若葉金三：寒冷地における冬季大気汚染と呼吸器障害，第12回大気汚染全国協議会大会 1971.10
7. 福地保馬，若葉金三，伊東史子，渡部真也：フォークリフト運転と腰痛，第34回北方産業衛生学会 1972.4
8. 渡部真也，福地保馬，若葉金三，伊東史子：金属鉱山さく岩夫の振動障害，第45回日本産業衛生学会 1972.4
9. 福地保馬，井本邦彦：火薬工場労働者の血液中のニトログリコール量について，第46回日本産業衛生学会 1973.4
10. 渡部真也，福地保馬，岸玲子：職業性クロム肺がんの疫学調査(第一報)，第47回日本産業衛生学会 1974.3
11. 福地保馬：低濃度ニトログリコールのイヌの血行動態におよぼす影響，第47回日本産業衛生学会 1974.3
12. 渡部真也，福地保馬，若葉金三，伊東史子：北海道の民間林調における振動障害，第47回日本産業衛生学会 1974.3
13. 渡部真也，若葉金三，福地保馬：振動作業者の手のサーモグラフィによる観察，第47回日本産業衛生学会 1974.3
14. 福地保馬，渡部真也，若葉金三，勘川二郎，椿秀充，大角延孝，胆振西部医師会：寒冷地における大気汚染の影響，第15回大気汚染全国協議会大会 1974.11
15. 福地保馬：ニトログリコール中毒の現状と課題—最近の特殊検診結果のまとめ—，昭和49年度日本産業衛生学会北海道地方会 1974.9
16. 渡部真也，若葉金三，福地保馬：振動障害における振動覚について，第48回日本産業衛生学会 1975.7
17. 福地保馬，渡部真也：クロム工場の職業性肺癌をめぐる社会医学的問題点，第16回社会医学研究会（熊本）1975.7

18. 福地保馬：環境アセスメントと健康－苫小牧東部大規模工業基地開発をめぐる、第16回社会医学研究会（熊本）1975.7
19. S.Watanabe, Y.Fukuchi: An epidemiological study on lung cancer in workers of a chromate-producing industry in Hokkaido Japan, 18th Intern. Congress on Occupational Health (Brighton), 1975
20. J.Kubota, Y.Fukuchi, Y.Ikoma, T.Kojo, J.Mizuno, K.Amamo: The present status of nitroglycol poisoning in Japan, The 6th Meeting of Subcommittee on Nitroglycol, International Association on Occupational Health 1975. 10 (Sao Paulo)
21. 渡部真也, 若葉金三, 福地保馬：トラクターの振動と健康, 第24回日本農村医学会 1975.11
22. 若葉金三, 福地保馬, 渡部真也：酪農民の生活時間と健康, 第24回日本農村医学会 1975.11
23. 渡部真也, 福地保馬, 若葉金三：レシプロエンジン式チェンソーとロータリーエンジン式チェンソーの生体負担の比較, 第49回日本産業衛生学会 1976.4
24. 福地保馬, 渡部真也：クロム労働者の嗅覚障害, 第49回日本産業衛生学会 1976.4
25. 渡部真也, 福地保馬, 若葉金三：チェンソーと刈払機の騒音と振動, 第25回日本農村医学会 1975.11
26. 渡部真也, 福地保馬, 若葉金三：振動作業の負担の評価, 第25回日本農村医学会 1975.11
27. 伊藤史子, 福地保馬, 新野峰久：ニトログリコールの循環系への影響－脳循環系に対する影響, 第50回日本産業衛生学会 1977.4
28. 渡部真也, 福地保馬：クロム酸塩等製造作業者の疫学調査, 第17回近畿産業衛生学会 1977.11
29. 渡部真也, 福地保馬, 西山勝夫：刈払機使用量と振動障害発生率, 第17回近畿産業衛生学会 1977.11
30. 若葉金三, 渡部真也, 福地保馬：振動負荷と振動覚 TTS, 第51回日本産業衛生学会 1977.4
31. 渡部真也, 福地保馬, 西山勝夫, 若葉金三, 池田和博：機械, 造船職場における振動障害, 第51回日本産業衛生学会 1977.4
32. 福地保馬, 渡部真也：クロム酸塩取扱工のがんの疫学, 第51回日本産業衛生学会 1977.4
33. 渡部真也, 福地保馬：農民の騒音被爆－等価騒音レベル計による評価, 第27回日本農村医学会 1978.10
34. 広沢巖夫, 西山勝夫, 福地保馬, 渡部真也：振動障害における温冷覚について, 第52回日本産業衛生学会 1979.4
35. 細川汀, 福地保馬, 西山勝夫, 松野喜六：茶業農家における振動障害, 第52回日本産業衛生学会 1979.4
36. 福地保馬, 渡部真也, 西山勝夫, 細川汀, 広沢巖夫：コンクリートとヒューム管製造工場における振動障害, 第52回日本産業衛生学会 1979.4
37. 西山勝夫, 福地保馬, 渡部真也：自動車運転手の腰痛について, 第52回日本産業衛生学会 1979.4
38. 福地保馬, 細川汀, 西山勝夫, 上畑鉄之丞, 五島正規, 桜井忠義, 高松誠, 鈴木秀吉, 松本忠雄, 若葉金三：郵政外務員の健康障害に関する研究（第1報）振動障害に関する自覚症状, 第53回日本産業衛生学会 1980.5
39. 福地保馬, 西山勝夫, 細川汀, 上畑鉄之丞, 五島正規, 桜井忠義, 高松誠, 鈴木秀吉, 松

- 本忠雄, 若葉金三: 郵政外務員の健康障害に関する研究 (第2報) 作業条件と自覚症状, 第53回日本産業衛生学会 1980.5
40. 松本忠雄, 横森求, 原田規章, 福地保馬, 金森雅夫: オートバイ乗務による郵便労働者の振動障害—冷却テストの結果について—, 第53回日本産業衛生学会 1980.5
41. 福地保馬, 渡部真也, 金森雅夫, 西山勝夫: 比較的近代化された農業地域における労働と健康, 第1報, 生活時間構造と労働環境, 第29回日本農村医学会 1980.9
42. 福地保馬, 渡部真也, 金森雅夫, 西山勝夫: 比較的近代化された農業地域における労働と健康, 第2報, 自覚症状, 第29回日本農村医学会 1980.9
43. 渡部真也, 福地保馬, 金森雅夫, 西山勝夫: 機械化農業従事者の騒音暴露と聴力, 第29回日本農村医学会 1980.9
44. T.Matsumoto, M.Yokomori, N.Harada, Y.Fukuchi, N.Kanamori, M.Gotoh: Mailmen's vibration hazard induced by the labour of motorcycle riding, Results of cooling levitytests, 20th International Congress on Occupational Health, 1981. 9 (Cairo)
45. 福地保馬, 金森雅夫, 渡部真也: 労働負担に関する自覚症状の解析, 第30回日本農村医学会 1981.10
46. 渡部真也, 福地保馬: 振動障害者の腰痛, 第55回日本産業衛生学会 1982.4
47. 福地保馬, 渡部真也, 西山勝夫: 国有林労働者の腰痛, 第55回日本産業衛生学会 1982.4
48. 福地保馬: 琵琶湖汚染と富栄養化防止条例, 第23回社会医学研究会 1982.7
49. Y.Fukuchi, S.Watanabe: TTS of vibratory sensation induced by exposed to intermittent vibration, The 8th Congress of International Ergonomics Association, 1982. 9 (Tokyo)
50. Y.Fukuchi, M.Hosokawa, K.Nishiyama: Vibration disorders of mail motorcyclists., ILO International Symposium on the Protection of Workers against Vibration, 1982. 9 (Nis, Yugoslavia)
51. 福地保馬: 高校生の食事習慣についてのアンケート調査—摂食態度調査 (EAT) を用いて, 第14回滋賀県公衆衛生学会 1984.2 (草津)
52. 渡部真也, 福地保馬: クロム酸塩製造工のがんについての疫学的研究, 第57回日本産業衛生学会 1984.6 (札幌)
53. 福地保馬, 細川 汀, 上畑鉄之丞, 五島正規, 桜井忠義, 鈴木秀吉, 松本忠雄, 若葉金三: 郵政労働者の交替勤務とその健康影響, 第57回日本産業衛生学会 1984.6 (札幌)
54. 上畑鉄之丞, 阿部真雄, 千田忠男, 金子秀平, 渡部真也, 福地保馬, 宮尾克, 榊原久孝, 小野雄一郎, 前田勝義, 中村美治: 航空機乗務員の腰痛症に関する疫学的研究, 第57回日本産業衛生学会 1984.6 (札幌)
55. S.Watanabe, Y.Fukuchi: Cancer mortality of chromate-producing workers, XXIst International Congress of Occupational Health, 1984. 9 (Dublin)
56. S.Watanabe, Y.Fukuchi, T.Uehata, M.Miyao. K.Maeda: Low back pain among air cabincrews2. Epidemiological analysis, XXIst International Congress of Occupational Health, 1984. 9 (Dublin)
57. 福地保馬: 黒鉛電極製造工の死因調査, 第47回北方産業衛生学会 1984.10 (札幌)
58. 福地保馬, 渡部真也: クロム酸塩製造工の職歴と肺がん死亡, 第58回日本産業衛生学会

1985.3 (北九州)

59. 福地保馬, 渡部真也: 国の職業がん疫学調査批判—大型人造黒鉛電極製造業調査を例に, 第26回社会医学研究会, 1985.7 (松山)
60. 福地保馬: 公害健康被害補償法「見直し」論の検討, 第26回社会医学研究会, 1985.7 (松山)
61. 森谷繁, 福地保馬: 簡易健康調査表 (HHI) の作成とその利用による青年及び高齢者の健康度把握, 第36回日本体育学会, 1985.10, (岐阜)
62. 福地保馬, 細川 汀, 上畑鉄之丞, 五島正規, 桜井忠義, 鈴木秀吉, 松本忠雄, 若葉金三: 郵政労働者の交替勤務とその健康影響 (第2報), 第59回日本産業衛生学会, 1986.4 (広島)
63. 福地保馬, 細川汀, 上畑鉄之丞, 五島正規, 桜井忠義, 鈴木秀吉, 松本忠雄, 若葉金三: 郵政職場における VDT 労働と健康に関する調査研究, 第60回日本産業衛生学会, 1987.4 (東京)
64. 福地保馬: 水銀鉱山労働者の退職後の労働と健康, 第29回社会医学研究会, 1988.7 (奈良)
65. 福地保馬他: 水銀鉱山離職者の健康と生活, 第47回日本公衆衛生学会, 1988.9 (札幌)
66. K.Moriya, Y.Fukuchi: Physical fitness as an important element of successful aging, Symposium of International Council for Physical Fitness Research, September, 1988 (Tokyo)
67. 森谷繁, 福地保馬: 在宅高齢者の健康状態, 生きがい感, 基礎体力の三年後の変化, 第39回日本体育学会, 1988.10 (福島)
68. 福地保馬, 細川汀ほか: 郵政労働者の交替制勤務とその影響 (第3報), 第62回日本産業衛生学会, 1989.4 (青森)
69. 埤田和史, 西山勝夫, 渡部真也, 福地保馬, 宮北隆志: 国有林の機械化作業に伴う騒音暴露の実態, 第62回日本産業衛生学会, 1989.4 (青森)
70. K.Wakaba, Y.Fukuchi et al.: A neurotological study on the vibration disease in chain-saw operators, Fifth International Conference on Hand-Arm Vibration, 1989. 5 (Kanazawa)
71. 三戸秀樹, 福地保馬ほか: ストレスによる手掌発汗の定量的計測法の検討, 第31回日本人間工学会1989.10 (札幌)
72. 土井陸雄, 佐藤洋, 岸玲子, 福地保馬: 元水銀鉱山労働者の死因について, 第63回日本産業衛生学会, 1990.4 (熊本)
73. 山田信也, 福地保馬 (司会): シンポジウム「変貌する産業構造—社会医学の周辺」, 第31回社会医学研究会 (札幌) 1990.7
74. H.Satoh, Y.Fukuchi et al.: Health examination of workers formerly employed at a mercury mine in Hokkaido, Japan, 23rd International Congress on Occupational Health. (Montreal) Sept. 1990
75. R.Kishi, Y.Fukuchi et al.: Neurobehavioral performances of ex-mercury miners at an average of 18years after the cessation of chronic exposure to mercury vapor—A case referent study., 23rd International Congress on Occupational Health. (Montreal) Sept. 1990
76. 森谷繁, 福地保馬, 布上恭子: 都市部におけるスポーツ教室参加高齢者の生活・健康・生きがいに関する研究, 第41回日本体育学会 (岡山), 1990.10

77. 布上恭子, 森谷繁, 福地保馬: 都市部におけるスポーツ教室参加高齢者の基礎体力と一日あたり歩行数に関する研究, 第41回日本体育学会 (岡山), 1990.10
78. 山本広子, 晴山紫恵子, 福地保馬, 川初清典: 本道幼児の冬における健康づくりからみた「歩くスキー」, 平成2年度北海道体育学会研究大会 (北見), 1990.12
79. 岸 玲子, 土井陸雄, 福地保馬, 佐藤 洋: 水銀鉱山退職者の健康状態に関する疫学調査 第一報 18年後の自覚症状について, 第64回日本産業衛生学会 (大阪) 1991.3
80. 若葉金三, 富田素美江, 黒沢剛, 望月鉄男, 福地保馬: 職対連活動における職業病相談室の役割 - 6年間175事例の実践から -, 第32回社会医学研究会 (大津) 1991.7
81. 福地保馬: 最近の労働実態と健康影響 (シンポジウム「最近の労働時間をめぐる産業衛生学的諸問題」), 第54回北方産業衛生学会 (苫小牧) 1991.9.21
82. 渡部真也, 毛利一平, 福地保馬: クロム酸塩製造工の発癌についての30年間追跡結果, 第65回日本産業衛生学会 (徳島) 1992.3
83. 毛利一平, 渡部真也, 福地保馬: カーボン電極製造工場労働者における癌死亡について, 第65回日本産業衛生学会 (徳島) 1992.3
84. 岸玲子, 土井陸雄, 福地保馬, 佐藤洋: 水銀鉱山退職者の健康状態に関する疫学調査, 第2報 精神神経・運動機能について, 第65回日本産業衛生学会 (徳島) 1992.3
85. 森若文雄, 田代邦雄, 土井陸雄, 佐藤洋, 福地保馬, 岸玲子: 運動ニューロン疾患と水銀濃度, 第33回日本神経学会 (鹿児島) 1992.5
86. 福地保馬: 食品工場で働く女性深夜パートタイマーの生活と健康, 第33回社会医学研究会 (金沢) 1992.7.19
87. 福地保馬: 苗畑作業者の手指障害, 第42回北海道農村医学会 (網走) 1992.8.30
88. 福地保馬: (総会シンポジウム) 旧産炭地域における保健・医療・福祉問題; 北海道道央 (空知) 地区の場合, 第57回日本民族衛生学会 (福岡) 1992.11.12
89. 森谷繁, 福地保馬, 布上恭子: 70歳代女性高齢者の健康・生きがい・基礎体力の特徴について, 第43回日本体育学会 (東京) 1992.12.21
90. 岸玲子, 土井陸雄, 福地保馬, 佐藤洋: 水銀鉱山退職者の健康状態に関する追跡調査第3報 老化と水銀暴露の複合影響について, 第63回日本衛生学会 (東京) 1993.4.7
91. 松本忠雄, 吉富修二, 上畑鉄之丞, 末永隆次郎, 鈴木秀吉, 福地保馬, 三戸秀樹, 桜井忠義: 郵便配達員の振動障害における公務上災害認定後の自覚症状についての追跡調査, 第66回日本産業衛生学会 (横浜) 1993.5.6
92. 福地保馬, 三戸秀樹: (シンポジウム) 中高年労働者の健康問題, 第34回社会医学研究会 (大阪) 1993.7.25
93. 福地保馬, 神山昭男: (シンポジウム) VDT 作業健診をめぐって, 第56回北方産業衛生学会 (室蘭) 1993.9.11
94. 鈴木秀吉, 松本忠雄, 福地保馬, 上畑鉄之丞, 桜井忠義, 三戸秀樹, 末永隆次郎: 労働者のゆとりと生きがいに関する質問紙法による実態調査, 第38回中国四国合同産業衛生学会 (広島) 1994.11.19
95. 鈴木秀吉, 松本忠雄, 福地保馬, 上畑鉄之丞, 桜井忠義, 三戸秀樹, 末永隆次郎: 仕事の満足感と疲労や健康状態の関係に関する研究, 第68回日本産業衛生学会 (名古屋) 1995.4.28
96. 福地保馬: (特別報告) 頸肩腕障害研究会の沿革, 第37回日本産業衛生学会頸肩腕障害研

- 究会（名古屋）1995.4.26
97. 福地保馬：最近の大気汚染判決の NOx 汚染への視点，第36回社会医学研究会（東京）1995.7.23
98. 須田力，浦上大輔，宮島成江，森谷繁，福地保馬，中川功哉：積雪地における勤労者の生活と運動，日本体育学会第48回大会（新潟）1997.10
99. 志渡晃一，小橋元，福地保馬：若年女子の低体重と自覚症状，第38回社会医学研究会（札幌）1997.7
100. 小橋元，志渡晃一，福地保馬：臓器移植についての若者の意識，第38回社会医学研究会（札幌）1997.7
101. 佐藤晃，福地保馬：保健体育科教員の労働実態と健康についての研究課題，第38回社会医学研究会（札幌）1997.7
102. 川村雅則，福地保馬：長距離トラック運転手労働と健康，第38回社会医学研究会（札幌）1997.7
103. 藤原喜一郎，森谷繁，福地保馬：壁紙の色彩が作業時と作業後の自律神経機能に及ぼす影響，第13回疲労研究会（大阪）1997.9
104. 吉川理香，森谷繁，福地保馬：VDT 作業による疲労の発現とその回復に及ぼす花の影響，第13回疲労研究会（大阪）1997.9
105. 志渡晃一，小橋元，福地保馬：若年女子の Life Style と不定愁訴の関連について，第44回日本学校保健学会（松山）1997.10
106. 川村雅則，福地保馬：長距離トラック運転労働と健康，現代労働負担研究会第6回研究集会（浜松市）1997.11.15
107. 福地保馬，川村雅則，佐藤修二，埤田和史，北原照代：砂利運搬ダンプトラック運転労働と血圧・心拍動態，第39回社会医学研究会（名古屋）1998.7.25-26
108. 上畑鉄之丞，佐々木昭三，西山勝夫，福地保馬：現代労働者の健康問題と社会医学—変形労働時間制，裁量労働制の導入をめぐる，第39回社会医学研究会（名古屋）1998.7.25-26
109. 志渡晃一，小橋元，羽田明，岸玲子，鈴木尚志，西野哲男，甲谷哲郎，福地保馬：通信産業従事者の健康調査（1）生活習慣と自覚症状の関連，第61回北方産業衛生学会（札幌）1998.10.24
110. 鈴木尚志，西野哲男，志渡晃一，小橋元，羽田明，岸玲子，甲谷哲郎，福地保馬：通信産業従事者の健康調査（2）労働条件と自覚症状の関連，第61回北方産業衛生学会（札幌）1998.10.24
111. 福地保馬，小林麻美，斉藤利和，安達正，阿部正子；（シンポジウム）健康教育の現段階，第61回北方産業衛生学会（札幌）1998.10.24
112. 志渡晃一，小橋元，羽田明，岸玲子，甲谷哲郎，西野哲男，鈴木尚志，福地保馬，近藤喜代太郎：通信産業従事者の労働・生活条件と疾病（1）自覚症状の因子構造，第57回日本公衆衛生学会（岐阜市）1998.10.28-30
113. 福地保馬，川村雅則：自動車運転手の労働態様および健康状態，現代労働負担研究会第7回研究集会（京都市）1999.5.22
114. K.Shido, G.Kobashi, Y.Fukuchi, et al: The distribution of myocardial infarction risk factors in Japanese male employees, 15th International Scientific Meeting of The Interna-

- tional Epidemiological Association (Florence) 1999. 8
115. G.Kobashi, K.Shido, Y.Fukuchi, et al: The distribution of myocardial infarction risk factors in Japanese female employees, 15th International Scientific Meeting of The International Epidemiological Association (Florence) 1999. 8
116. 福地保馬：社会的ストレスと体力—教育プロセスと体力の発達—シンポジウム「学生における体力の意義」, 第37回全国大学保健管理研究集会（札幌市）1999.10.6
117. 中村由里, 小田史郎, 新山雅美, 渡辺明日香, 福地保馬, 森谷繁：犬による animal assisted therapy のための基礎研究—面識のない幼犬を見ることによって青年男性に現れた生理的・心理的反応, 第27回日本バイオフィードバック学会（東京）1999.11.27
118. 福地保馬：はたらく人の健康をどう捉えるか, 第10回労災職業病九州セミナー（北九州市）1999.11.27
119. 福地保馬, 佐藤修二, 若葉金三, 埤田和史, 川村雅則, 菅原由美子, 西山勝夫：炭鉱離職者の健康 第1報 芦別市在住元坑内労働者のアンケート調査, 第73回日本産業衛生学会（北九州市）2000.4.24
120. 佐藤修二, 福地保馬, 若葉金三, 埤田和史, 川村雅則, 菅原由美子, 西山勝夫：炭鉱離職者の健康 第2報 芦別市在住元坑内労働者の検診, 第73回日本産業衛生学会（北九州市）2000.4.24
121. 小野雄一郎, 埤田和史, 中石 仁, 中田 実, 福地保馬, 宇土 博, 車谷典男：頸肩腕障害研究の今日的課題—国際的動向から検証した頸肩腕障害の考え方—, 第73回日本産業衛生学会（北九州市）2000.4.24
122. 福地保馬：北海道炭鉱離職者の追跡調査について, はたらくもののいのちと健康を守る全国センター・2000年セミナー東日本集会,（長野県・戸倉町）2000.7.8
123. 小橋元, 志渡晃一, 太田薫里, 福地保馬：疫学研究への個人情報提供に関する意識調査, 第41回日本社会医学会（大阪市）2000.7.22
124. 小橋元, 笠井世津子, 福地保馬：札幌におけるホームレスの健康問題—炊き出しと健康相談会の実践から—, 第41回日本社会医学会（大阪市）, 2000.7.22
125. 福地保馬, 佐藤修二, 若葉金三, 埤田和史, 川村雅則, 菅原由美子, 西山勝夫, 富田素実江, 松塚政男：炭鉱離職者の健康 第3報 「芦別調査」の意義, 第41回日本社会医学会（大阪市）, 2000.7.22
126. 岸玲子, 福地保馬：イトムカ水銀鉱山における水銀中毒症研究の系譜—橋場亮二らの労働衛生研究から北大精神科・公衆衛生合同調査を経て, 閉山後の後遺症追跡へ, 日本産業衛生学会第46回労働衛生史研究会（札幌）2000.9.30
127. 佐藤修二, 川村雅則, 菅原由美子, 若葉金三, 福地保馬：長距離トラック運転労働における心電図動態, 第63回北方産業衛生学会（岩見沢市）2000.10.7
128. 佐藤修二, 若葉金三, 川村雅則, 福地保馬, 西山勝夫：長距離トラック運転労働における心電図変化, 第74回日本産業衛生学会（高知市）2001.4.5
129. 小橋元, 志渡晃一, 福地保馬：某大学生生活協同組合職員の作業環境および作業態様, 第74回日本産業衛生学会（高知市）2001.4.7
130. 小橋元, 笠井世津子, 太田薫里, 福地保馬：札幌におけるホームレスの実情, 第71回日本衛生学会（福島市）2001.4.27

131. 福地保馬：(招待講演)「21世紀、いのちと健康をまもる課題と展望」, Health and Safety 2001年セミナー(徳島市) 2001.6.16
132. 小橋元, 太田薫里, 木佐健悟, 長野俊輔, 玉城英彦, 福地保馬：札幌市のホームレス者に対する聞き取り調査～きっかけ・ニーズを中心に～, 第42回日本社会医学会(北九州市) 2001.8.4
133. 太田薫里, 小橋元, 木佐健悟, 長野俊輔, 玉城英彦, 福地保馬：ホームレス者に対する認識と需要度に関する学生調査, 第42回日本社会医学会(北九州市) 2001.8.4
134. 木佐健悟, 小橋元, 太田薫里, 長野俊輔, 玉城英彦, 福地保馬：食品の安全に関する意識調査, 第42回日本社会医学会(北九州市) 2001.8.4
135. S.Sato, M.Kawamura, K.Wakaba, Y.Fukuchi, K.Nishiyama: Heart rate variability at the Long Time of Truck Driving Work, XVth International Symposium on Night and Shiftwork, (Tokyo) 2001. 9. 10-13
136. 佐藤修二, 川村雅則, 若葉金三, 福地保馬：炭鉱離職者の肺機能に関する検討, 第64回北方産業衛生学会(釧路市) 2001.9.15
137. 福地保馬, 色部祐, 高森敏次, 逢坂隆子, 富田洋子, 藤井克徳：(シンポジウム) 経済危機のもと、いのちと健康をまもる, 第43回日本社会医学会(東京都) 2002.7.27
138. 小橋元, 太田薫里, 新野峰久, 福地保馬：「生活習慣病」などの病名がもつ自己責任イメージについて, 第43回日本社会医学会(東京都) 2002.7.28
139. 佐藤修二, 若葉金三, 福地保馬：炭鉱離職者の肺機能に関する検討(続報) 第64回北方産業衛生学会(遠軽市) 2002.10.25

3. 主な所属学会

日本社会医学会(理事, 第23回, および第31回学会事務局長, 第38回学会会長)
日本産業衛生学会(評議員, 産業医学専門医指導医)
日本衛生学会(評議員)
日本公衆衛生学会
日本人間工学会(北海道支部長-2002, 第42回学会会長)
日本農村医学会

4. 主な社会的活動(現在)

働くもののいのちと健康をまもる全国センター・副理事長
働くひとのいのちと健康をまもる北海道セミナー・代表世話人
北海道職業病対策連絡協議会・顧問
核戦争に反対する北海道医師・歯科医師の会・会長
北海道大学生生活協同組合・理事長
生活協同組合市民生協コープさっぽろ・理事
日本科学者会議北海道支部・常任幹事
北海道勤労者医療協会・理事